

誰でも安心して暮らせる地域づくりをめざす

相原に地区社協が出来ました



身近な生活の場の中で、地域の人々が自分たちの地域の特性を把握し、福祉課題の解決にむけ協議、活動するため組織された任意の団体です。地域住民の参加はもとより、地域の多様な主体が参加し、誰もが安心してしあわせに暮らせることを目指して活動します。

- 会長 井上正行 (相原連合町内会)
- 副会長 松本義隆 (相原地区協議会)
- 近藤修 (元橋町会)
- 会計 高橋京子 (民生・児童委員協議会堺支部)
- 事務局 高橋勇二 (相原まちづくり協議会)
- 事務局長 松本則 (あいほら住民福祉協議会)
- 事務次長 寺島正雄 (相原地区連合町内会)
- 広報担当 篠原幸子 (特別養護老人ホーム椿)
- 佐々木雅治 (生活支援団ナンヘル)
- 佐々木幸志 (町田ゆめ工房)
- 木幸男 (老人クラブ堺支部)
- 監事 井上春雄
- 横溝文雄
- 顧問 宮城孝 (法政大学 教授)
- アドバイザー 小森恵美子 (堺第一高齢者支援センター長)

令和三年十月二十四日、「相原地区社会福祉協議会」が設立されました。町田市内では四番目の地区社協です。

その目的は、身近な生活の場の中で地域の人々が自分たちの地域の特性を把握し、相原地区の福祉課題解決に向けて、協議、活動し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すものです。

相原地域では、高齢者の割合が急速に増えており、とりわけ高齢者世帯が増加しています。それにより日々の買い物や通院に支障をきたしている高齢者が増えています。近年社会問題になつている高齢者の交通事故増加による運転免許証の返納で更に深刻さを増しています。また、ちよつとした家事なども高齢者には大きな負担になっています。このような現状を何とか地域の方で解決したいとの思いから、「人材バンク」を立ち上げ、ボランティアによる問題の解消が出来ないものかと、今日まで模索してきました。

この度、「人材バンク」の運営母体として、当協議会を発足いたしました。設立に際しましては、多くの皆さまのご理解、ご支援を頂きました。改めて厚くお礼申し上げます。これから暗中模索になります。何卒よろしくお願いたします。

相原地区社会福祉協議会
会長 井上正行

相原地区懇談会で話し合いました

2016年

から「地区懇談会」が開催され、相原地域の課題の解決に向けた話し合いを行ってきました。その中で買い物・移動・外出支援の検討や地域活動の担い手の発掘と育成について取り組むこととなりました

2018年

の地区懇談会では地域で出来る住民同士の助け合い活動の手段として「相原人材BANK」の立ち上げとネットワーク作りに取り組むこととなりました



2019年

の地区懇談会で「相原人材BANK」の具体的な仕組み作りを協議しました。



2020年

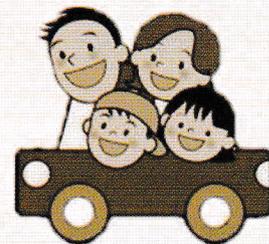
には「相原人材BANK」のシステムづくりについて話し合われ、受け皿として「相原地区社会福祉協議会」の設立について話し合われました

2021年

には1年間の準備期間を経て「相原地区社会福祉協議会」(相原地区社協)が設立されました。町田市では4番目の地区社協誕生です。先輩である玉川学園地区、鶴川地区、南町田地区の経験と活動内容を勉強しながら徐々に目的である「誰もが安心して暮らせるちづくり」を目指します

2022年

は「相原人材バンク」の具体的な取り組みを開始します。なにもかも一度には出来ません。まず移動手段についての人材バンク活用について他地区の取り組みを参考に仕組みを完成させます。それには相原地区に住まわれる皆様のご協力とご理解が重要です。積極的な参加をお願いします。



アンケート結果

相原で今不便を感じていること
困っていること

・医療・通院	22.8%	・趣味・活動	3.2%
・買い物	15.5%	・その他日常生活	3.0%
・外出手段	14.3%	・仲間との交流	2.2%
・食事	4.7%	・その他	3.0%
・家事	3.8%	・無回答	5.0%

相原人材BANKは 皆さんのお悩み事 を解決します